

令和6年（2024年）12月3日  
子ども文教委員会資料  
教育委員会事務局子ども・教育政策課

## 鷺の杜小学校における通学路の安全対策について

鷺の杜小学校が令和6年4月に開校し、新たに一部の児童が西武新宿線を横断して通学しているため、区は、踏切（鷺宮2号踏切）に警備員を配置するなどの安全対策を実施している。

しかし、電車の運行状況によっては、多くの児童が踏切付近に滞留することがあり、これらの状況に対し、学校専用の歩道橋を設置し、児童の安全で円滑な通学環境を確保する。

### 1 鷺宮第2号踏切における児童の横断状況

#### （1）横断児童数

約170人程度

#### （2）滞留が生じた場合の平均滞留時間・平均滞留人数

ア 滞留時間 最大26分程度（平均約4分）

イ 滞留人数 最大150人程度（平均約10人）

#### （3）現在の安全対策

当該踏切において登校時4か所、下校時2～4か所に警備員を配置している。

#### （4）課題

- ・電車の運行ダイヤの乱れなどにより踏切遮断時間が長時間にわたる場合は多くの児童が滞留している。

- ・警備員の配置には多くの費用がかかっている（令和6年度契約額24,388千円）。

### 2 今後の対応策

西武新宿線を横断する構造物の構造形式については、歩道橋案と地下通路案について検討した結果、当該エリアはハザードマップにおける浸水想定区域であること、また、地下通路の場合、重機や資機材の搬出入や工事に必要な作業ヤード、近隣住環境への影響が大きいため、歩道橋案を採用し整備を進める。

### 3 歩道橋の概要（案）

#### （1）位置図（案）

図1のとおり

#### （2）工事費

約2～3億円

#### （3）工事期間

2年程度

#### (4) その他

歩道橋の想定設置エリアにおいては、西武新宿線（野方駅～井荻駅付近）の連続立体交差化の計画があることから、歩道橋は恒久施設とはならず、計画の進捗や内容により、再度踏切を横断することが想定される。

4 今後の予定

- |         |  |
|---------|--|
| 令和6年度   | 歩道橋の概要（案）を保護者に説明                           |
| 令和7年度   | 詳細な現地調査、歩道橋の詳細設計                           |
| 令和8年度以降 | 西武鉄道と協定締結など協議<br>整備工事（工期は2年程度の見込み）<br>供用開始 |

※工事費やスケジュールは、詳細設計前であり、西武鉄道と未協議のため、現時点での区の想定である。

【図 1】

